

Fukuoka
Urban
Beautification
Award
2003

福岡市都市景観審査委員会委員(50音順、敬称略)

- 岡本 均
西日本短期大学教授
- 落合 太郎
九州産業大学教授
- 鹿野 至
福岡市都市整備局長
- 菊地 成朋
九州大学教授
- 佐藤 俊
九州大学教授
- 中村 敬子
九州朝日放送(株)編成局アナウンス部長
- 永崎 明子
九州造形短期大学教授
- 西山 徳明
九州大学教授
- 三浦 佳世
九州大学教授



今年の都市景観賞は、推薦数656通、推薦対象件数341件と、賞美ともに近年にない激戦であり、建造物から市民活動にいたるバラエティに富んだ内容だった。福岡市都市景観賞は今年で17回目になる。建築賞でも緑化賞でもない、市民と専門家と行政が一体となって生活環境を考える独自の賞に育ってきた。計画設計への高い評価と同時に、市民にも受け入れられたという証になり、社会的な価値は大きい。

今年は議論が白熱し、受賞対象が3転も4転もした。今年の選外になった中でも大きな支持を得たものとして、『唐泊の街並み』や『黒門鮎本舗』、『大濠公園の花火大会』などがあった。唐泊は貴重な美しい景観であるが、整備や努力が顕在化した時点を持つことにした。花火は、地域のコミュニティを形成する手法として東区の方を特別表彰に選定した。

一般表彰の、『西南学院舞鶴幼稚園 卓線(さみと)リ子供の園』は、開放的でびやかな空間が好感を招いた。『アイランドシティコンテナクレーン』は、機能と美しさが調和した博多港の新しい顔として世界の注目を集めるにちがいない。『舞鶴公園の濠』は、長年市民に潤いの場を提供してきた着実な整備が評価され、『次郎丸3丁目の白壁通り』は各戸の努力が次第に実を結びはじめていることが

注目され、『銀の桃』は旧家を活用した設計が共感を生んだ。『御菓子屋五島』は小さな物件でありながら景観へのこだわりが感じられ、『九州女子高等学校』はわかりやすい開放感が好感を持たれた。

もうひとつの特別表彰の『美しい奈多海岸づくり』は、市民参加のひとつのモデルになる立派な活動である。

景観エッセーは、生活や思い出とかけがえのない景観が一致したすぐれた作品が多かった。学校で課題にもらったところもあり、ここに感謝の意を表したい。伊瀬知ひとみさん、大貫弘子さん、原田光里さん、松井椋子さん、おめでとうございませう。私は谷の坂道を描いた作品が気に入っていたが、残念ながら次点になってしまった。来年また挑戦していただきたい。

公平で民主的な審査が代々継承されてきたことへの信頼も伴って、福岡市都市景観賞はわが国最大級の権威ある賞になり、昨年はソウルでも紹介されるなど国際的な広がりも見せている。市民との数少ない接点を築き上げ、対話をしながら誇らしい景観を育てていく活動は着実に成果をあげている。豊かなまちづくりを推進していくために、来年度もまた魅力的な景観やユニークな活動を数多く推薦していただきたい。

(審査委員長 佐藤 俊)

